

いよいよ夏休み 充実した日々に ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

夏休みが始まります。どのように過ごすか、いろいろご家庭でお話をされていることでしょう。学校でも、子どもたちがめあてを持って過ごせるように指導をしています。ご家庭でも、子どもたちと一緒に計画を立て、適切な助言を与えて有意義に過ごせるようにご支援いただければと思います。

さて、今朝の朝会では、3月11日の東日本大震災の発生から、今日までのいろいろな写真とよく放送された「上を向いて歩こう」の曲を紹介しながら、悲しみ、助け合い、思いやり、努力、祈り……そういったことを振り返りました。子どもたちが大人となっても、なお、語り続けられるであろう未曾有の災害です。その記憶の中にしっかりととどめておきたいと思い、この夏休みに入る今日が最後の機会と考えお話ししました。

続けて、時間にゆとりがある夏休み、無理なく意欲を持って取り組めるように、学習面や生活面、運動面でも、日々の小さな努力を継続してほしいとお話ししました。子どもたちの今日の意欲を各ご家庭でも後押ししていただければと思います。

\* お話の詳細を、学校HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

西本勉先生のお話

7月5日(火)、被爆体験者である西本先生が、本校においでくださり、低学年と高学年に、2回に分けてお話ししてくださいました。先生は、小学校4年生当時、爆心地より1.5 Kmの三篠にお住まいでした。……



毎日、グラマンという飛行機が広島上空を飛んでいました。飛行機の音がすると、防空壕に入り、目と耳を両手で押さえて、飛行機が飛び去るのを待ちました。爆弾が近くに落ちると、目が飛び出て、鼓膜が破れる。それを防ぐためです。これが、毎日続きます。だから、学校は、楽しくありませんでした。

中学生のお兄さんは、近くの工場で爆弾をつくり、お母さんは、敵をやっつけるために、竹槍の練習をしていました。やがて、私は、田舎に疎開することとなりました。田舎での生活は、爆弾を落とされる恐怖はなくなりましたが、食べ物も少なく、家族と離れ、すべて自分がしなければならず、つらい生活でした。そんな、8月5日、大好きなおじいちゃんが、私を迎えに来てくれました。家を引っ越すためでした。うれしくて大喜びで広島にもどりました。

そして6日の朝を迎えました。その朝、家の前で、地面に絵を描いて遊んでいたところ、おじいちゃんが、そろそろごはんだから家に入れと声をかけてくれました。これが8時頃でした。家に入り、食事までの少しの時間、本を読んでいたら、突然、その部屋がふくらんだような衝撃があり、窓が真っ赤になりました。それから分からなくなりました。しばらくして、おじいちゃんとお母さんが、私を呼ぶ声に気がつきました。私は、倒れた家の下敷きになっていたのです。柱や壁を取り除き、救い出されましたが、その後すぐに、家は炎に包まれました。



資料画像

電車通りまで出ると、顔を真っ黒にし、手を前に突き出した格好で歩く長い列が目に入りました。みんなひどいやけどで、皮膚が垂れ下がっていました。歩きながら「水をください。」と、うめくような声が聞こえてきました。横川駅まで逃げてくると、大きな店がありましたが、崩れてしまった家に火がついていました。その前を言ったり来たりしながら「お母さんを助けてください。」と叫ぶ女の子に気がつきました。しかし、助けることができる人は誰もいませんでした。大きな柱は、すでに炎に包まれていました。

大芝まで来ると竹やぶがありました。そこには、ケガをした大勢の人がいました。口々に「水をください。」と言っていました。やがて、黒い雨が夕立のように降り出しました。その雨を飲み干す人がたくさんいました。その後、私は体調がくずれ、体がだるかったり、歯ぐきから血が出た

りすることがありましたが、今こうして、長生きすることができました。

原爆が投下されてから、私は、しばらく田舎にもどって暮らしました。1年後元の家にもどり、再び三篠小学校に通い始めました。体がだるく、勉強もあまりしませんでした。

そんなある日、学校の物を整理していましたが、汚れたハーモニカを見つけ、先生に届けました。そうすると、先生は、ハーモニカを分解し、ていねいに洗い、音が出るようにしてくださいました。そして、私に「みかんの花咲く丘」という曲を教えてくださいました。それは、毎晩続けました。そして、苦手な算数も教えてくださいました。その曲を演奏してみます。♪♪♪……先生のおかげで、算数が大好きになり、やがて学校の先生になりたいと思うようになりました。

二度と戦争を起こさないように、みなさんができることを考え、実行してください。みなさんで、平和な世の中をつくってください。

西本先生は、新聞紙による楽しい折り紙で、子どもたちの目と耳、心を引きつけ、最後に、ハーモニカによる心に響く演奏を聴かせてくださいました。そして、楽しいクイズも……

平和の大切さを、子どもたち一人一人が考える時間となりました。先生は、学校を出られる際、安西小学校に、親となった教え子が数人いるとおっしゃっていました。おや？もしかしたら……と思われる方いらっしゃいませんか？

12日(火) 学校朝会 安佐南警察署 宗廣警部補様のお話

夏休みを前に、本校においでいただき、生活指導をしてくださいました。宗廣様が、警察の服装で警察帽を手に児童の前に立たれると、いつも以上の真剣な表情でお話を聞いていました。

- 1 知らない人から声をかけられてもついて行かない。安西小学校の場所を聞かれても、車に乗って行かない。
- 2 万引きは、絶対ダメ！
- 3 火遊びをしない。花火、特にロケット花火に要注意！近くの人に重大なケガをさせるケースが発生している。
- 4 川・用水路・ため池等、**危ない場所**には行かない。もし、おぼれている人がいたら、近くの家に助けを呼ぶ。
- 5 **自転車での事故**が多い。ルールを守って、安全に乗る。



七月の子ども俳句	
○ 夏休み 海でポチャポチャ 遊ぼうね	井上 彩華
○ 夏休み キャンプ 楽しみ なにしよう	沖原 未宇
○ 夏休み 楽しく過ごす おもしろい	坂本 有羽
○ 学校は あいさつをする ところだね	中祖 威
○ 元気はね 友だちの笑顔で みたされる	波平 真子
○ 協力 力で クラスのきずな ひとつだね	登 菜奈子
○ 梅雨が来た 雨の日つづくよ かなしいな	萬本 萌花
○ 七夕は 星がみられるの 楽しみだ	朝村 未来
○ 自分から 明るいあいさつ めざそうよ	竹下 沙良
○ 七月は 七夕がある 楽しいね	宮本 将吾
○ 芝生うえ みんなでうえて つかれたな	藤永 詩花
○ 安西は ゆうぐがあるよ 楽しいな	宮本 和弥
○ 七月は 七夕あるよ うれしいね	中島 愛
○ 待つていた 夏休み来た なにしよう	丸岡 さくら
○ あいさつは えがおをつくる 宝物	田頭 明日香
○ 夏休み 楽しいことが たくさんだ	植木 菜瑚実
○ もうすぐで すぐうれしい 夏休み	北中 葉月
○ 夏休み 楽しいことが いっぱいだ	大田 夕月

